

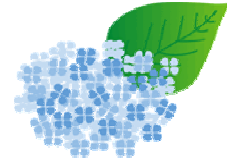


# 父母の会 だより

2009年6 27日

第4号

## 本年度、父母の会執行部各メンバーからの一言



### 父母の会 会長 マッコスカー 浩美

抽選でいきなりこんな大役にあたってしまい、動揺して思わず泣いてしまったのが去年の冬でした。引継ぎが始まるまでは、かなり不安でした。そんな私が仕事を始めだして、無理だと思っていた事が、一つ一つゆっくりと出来ています。それは、前現執行部の心温まるサポートや、周りから知らなかった方々までも声をかけて頂き、今ではやりがいもあり、楽しくなっています。自分でも急変化に驚きです。子供達も先日、ある事をやり遂げるに当たって、「ママみたいに最初は嫌だと思える事でも楽しくなってくるのかな？」と、ポツツと言いました。

この1年、どんな状況の方が役員に当たっても出来る様、変えていける所は変えていって、基盤を作っていきたいと思っています。2009年の抱負だった“

て対応したいと思っています。よろしく御願います。

### 副会長 行事企画 スペンサー 晶子

ニュージャージーに来る前は、シカゴの方に8年くらい住んでいました。最初は不安ばかりでしたが、執行部を通して、学校のことがよくわかって、とても興味深いです。また、役員になる前は、学校に来て暗い日々でしたが、今ではたくさんの方とお知り合いになり、楽しく送迎をしています。

改善できるところは改善して、父母の方たちが便利になるような、また、次に執行部役員になられた方が、やりやすいような父母の会にしたいと考えております。

### 副会長 総務 平松 佳織

役員に当選したときは、まさか、と思いました。転入して、しかもPCは苦手！大ピンチ？いいえ、ピンチはチャンスなのです！補習校の事を知る、子供の学校生活を知る、ママ友を増やし、そして今更ながらPCも。何気なく皆様が下さる励ましの言葉に元気づけられながら、1年間がんばれそうです！

### 書記 綾目 恵美

毎 行われる執行部会、各委員長との定例会や連絡会などの議事録を作成しています。これらの議事録は父母の会HPに掲載されていますので、ご覧ください。父母の会の普段の仕事の様子なども、ご理解いただけるかと思います。

「父母の会って何やるの？」と私もこの間まで思っていたのですが、2ヶ月間仕事をしてみて、父母の会が、どれだけ生徒や保護者にとって大切かを実感しています。一年間どうぞよろしくお願い致します。

### 会計 藤本 真衣美

まだ2009年度は始まったばかりなので、執行部の仕事も、会計の仕事も、しなければならないことがたくさんあって忙しい毎日ですが、最近は大変だという気持ちばかりではなく、少し充実感も感じられるようになりました。2歳の息子を、父母の会室に連れて行かなければならないこともありますが、執行部の皆様に助けて頂きながら、お仕事させて頂いています。どこまで出来るかわかりませんが、1年間がんばりますので、よろしくお願い致します。

## 教育企画 幼初等部 シュリマー リカ

こちらの学校でお世話になるようになったのは、昨年度12 からです。執行部役員選出のときは、まるっきり右も左もわからない状態でした。幼児部に長男と2歳になったばかりの次男もいて、最初は「嫌だな…」というのが先でしたが、今こうしてお仕事を始めてみて、本当によかったと思っています。

このお仕事を通して、たくさんのお友達もできましたし、一緒に役員として活動している全員が、とても素敵な人たちで、父母会室に行くことが毎週楽しみになっています。学年の違う父母の方々との交流もでき、各委員の方々や、クラス係り・図書係りの皆さんとの交流もでき、学校の活動や父母の会の位置づけを知る良い機会にもなり、また校長先生はじめ補習校サイドの方々との人間関係も築けます。

8人で助け合いながら協力してお仕事をするという形が、学生時代を思い出させて新鮮な感じすらします。決して執行部役員は「大変な仕事」という代名詞でひとくりにされるものではないと感じています。

### 年度途中の編入、帰国の方

は父母の会室にお立ち寄り下さい  
(1階 図書室 斜め前)

**開室時間 8時半～11時45分**

## 教育企画 中高等部 姫野 孝子

高1の夏休み明けに転入したのですが、父母会の役員になったおかげで、補習校のことがよくわかるようになりました。また、いろんな方々と交わり、たくさんの情報も得ることができ、とても有意義です。教育企画として、皆さんに役に立つような情報の発信ができればいいなと思っています。

## 広報渉外 堂裏 千佳

父母の会室の印象は理由はないけれど怖そうで、なんだか入りづらいというのが去年の印象でした。前執行部の方からは、「執行部も父母の会室にいるのも楽しいよ～」と聞いていたものの、「本当かなあ、それはその年だけなんだろうなあ」と内心思っていました。年度の変わり目に新執行部の活動の準備が始まり、何度かミーティングで集まったり、メールのやり取りをしたりするうちに、「なんていいメンバーなんだろう！楽しい！」「当番で父母の会室にいるのもいいものだなあ」なんて思えるようになり、今ではメンバーと父母の会室で顔を合わせるのを楽しみにしています。

また、各委員さんの活動に関わるのも、みなさんが豊富な知識を持って活動されているので、様々なことを知ったり、経験するよい機会だと思っています。

現在、広報委員の皆さんが中心となって父母の会HPの新しいデザインを準備中です。ご期待下さい。



## 運動会委員より

### 運動会委員長 カルバーソン 昌子

5月24日は、天候が心配された中、70名近くのボランティアの皆さん、執行部関係者、またクラス係の方々のご協力により、運動会を無事終了させることが出来ました。

運動会が補習校教員の皆さん、及び保護者の皆さんの強力なチームワークで成り立っているということを深く実感いたしました。運動会委員一同、このような貴重な体験をさせて頂いたことを心から感謝いたします。



# 父母の会が ついに免税NPO<sup>\*</sup>になりました！

—— 父母の会免税NPO化  
 特別委員会からのお知らせ ——

エージェント 久美子

\*. (Non-Profit Organizationの略で「非営利団体」の意)

## 免税団体となるための申請結果

2008年の8月にIRS（国税庁の一部局である内国歳入庁）に提出していた、免税団体となるための申請が通り、4月21日付けで父母の会が免税団体として認可されました。

又、父母の会はもともとJ-KOU-FUBO-KAI, P. T. A., INC. という名称で1997年にニュージャージー州でNon-Profit Corporationとして登録されていたのですが、今回免税団体になるにあたってIRSよりいただいたtax exempt statusは、J-KOU-FUBO-KAI, P. T. A., INC. の設立日である1997年12月23日まで遡って有効だとされたため、これまでの法人税や手続きが遅れたことによる罰金（Non Compliance Fee）などは一切かからずに済みましたことを、ご報告させていただきます。

## これからの父母の会の 資金調達活動について

父母の会の免税NPO化の申請には複雑な背景があったため、本会では免税団体として正式な認可がおりるまでは資金調達活動も控えめにしていました。2007年度のパザーの縮小や2008年度のパザー中止もこれがひとつの理由でありました。

今回の父母の会が免税NPOとなったことと、これから父母の会では、いくらくらいの資金調達をしていけばよいのか、ということとは関連性があります。2006年度までは父母の会の収入は、会費で約7,000ドル、多くの企業や個人からいただく寄付金やパザーの収益でだいたい10,000～15,000ドルくらいの収入がありました。2007年、2008年度は、免税団体として認められていなかったこと、免税団体となるための申請は、本来ならば父母の会の年総収入が5,000ドルを超えた時点でされていなければならなかったことなどを踏まえて、資金調達活動をそれまでの年より控えるようにしていました。

父母の会がここ数年してきている活動を維持する

ためには、だいたい15,000～20,000ドル程度の資金が必要となってきます。現行の父母の会の活動の縮小をするのでなければ、父母の会費として皆様からいただいている約8,000ドルの収入に加えて、約10,000ドルを資金調達していかなければならないということになります。

しかし、ここで気をつけなければならないのは、受けた寄付金の金額が多くなればなるほど、それにまつわる業務も増えるということです。免税団体は収入に対する法人税はかかりませんが、3年間の年総収入（gross receipts）の平均が25,000ドル以上になれば、所得申請の書類をIRSに提出する必要がでてきます。このgross receiptsには父母の会の銀行口座に入金されるものは全て含まれますので、例えば、2007年以前のようにクラス写真や運動会のお弁当にマージンをつけて父母の会が収益を得れば、本会の年総収入はたちまち25,000ドルは越えてしまうということになります。そうすると、所得申請の書類を適切に準備できる会計士を雇う必要もでてきます。

又、寄付金のみで10,000ドルを超えた場合は、ニュージャージー州のDivision of Consumer Affairsに登録する手続きが必要となってきます。これについても受けた寄付金の額によって、提出する書類の煩雑さや登録料が変わってきます。

こういったことを踏まえて、免税団体になったからといって、やみくもに資金調達活動をするのではなく、何のために、どれくらいの資金を集めるという目標を立てていくこと、更に資金調達をすることによって増える仕事が、こなせるかどうかを吟味していくことも、これからの父母の会では、重要となってくるのではないかと思います。

